

GOSATシリーズによる排出量検証に向けた技術高度化事業等



【令和6年度予算(案) 2,628百万円(3,005百万円)】
 【令和5年度補正予算額 990百万円】



温室効果ガス観測技術衛星GOSATシリーズによる世界の温室効果ガス排出源の特定と排出量の把握を目指します。

1. 事業目的

- GOSATシリーズにより世界の温室効果ガス(GHG)濃度の分布状況とその時間的変動を継続的に監視する体制を維持・強化するため、GOSAT及びGOSAT-2を適切に運用するとともに、3号機(GOSAT-GW)の開発と打上げ準備を行う
- グローバル・ストックテイクへの継続的な貢献を目指し、客観性の高い独立した排出量検証手法を実証し確立する
- 世界各国が自らGOSATシリーズの観測データを利活用することで、排出量削減目標に関する政策などに貢献する

2. 事業内容

1. GOSATシリーズによる継続観測

- 世界初のGHG観測専用衛星GOSAT(2009年打上げ)のミッションを発展的に継承したGOSAT-2(2018年打上げ)の継続運用を行う。また、宇宙基本計画に基づき文科省と共同で世界でも先駆的なGOSAT-GW衛星観測システムの開発と打上げに向けた準備等を行う。

2. GHG濃度算出と人為起源排出量の推計・検証

- 衛星データから高次プロダクト算出に利用する濃度算出アルゴリズムの高度化とプロダクト検証を実施するとともに、GHG排出量推計手法を高度化し、国際展開を促進する。

3. 世界各国の排出インベントリへの利活用促進に向けた調査展開活動

- 国別の排出インベントリの透明性を高めるため、GOSATシリーズ観測データを用いた排出インベントリとの比較検証手法の国際展開を促進する。

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業、請負事業
- 委託・請負先 民間事業者・団体等
- 実施期間 平成26年度～

4. 事業イメージ



お問合せ先： 環境省地球環境局総務課気候変動観測研究戦略室 電話：03-5521-8247